

県民の森でスノーシュー体験しませんか？

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

冬、県民の森は一面の雪景色となります。八幡平は日本国内でも雪質が特に良いことで有名な場所です。スノーシューは雪の上を歩くときの道具。スキーやスノーボードのように滑走技術は必要ないので、初めての方でも履いたその日から雪上散歩ができます。深い雪でもスノーシューを履いていると浮力があるので、魔法のように快適に歩くことができます。無雪期には笹藪で歩くことができない場所でも、スノーシューならどこへでも行かれるので、雪上の動物の足跡を辿ることもできます。県民の森ではスノーシューレンタルを各種ご用意。初めての方には履き方、歩き方からお教えしますので安心です。

【ミニ企画】はじめてのスノーシュー体験

【開催日】2026年1月11日(日) / 1月18日(日)
2月11日(祝) / 2月22日(日)
【時 間】10:30～12:00
【参加費】1,000円(スノーシューレンタル付)
【定 員】5名(初めての方、初心者対象)
(小学3年生以上対象)

スノーシューとストックのレンタル付。
スノーシューを持っていなくても手ぶらで体験できます。この冬、雪上さんぽデビューしませんか？



●県民の森スノーシュー冒険ツアー

【開催日】2026年1月24日(土) / 2月7日(土)
【時 間】9:30～12:00
【参加費】1,500円(スノーシューレンタル別途1,000円)
【定 員】10名(小学3年生以上対象)

スノーシューを履いて、無雪期は笹藪で行くことのできない秘密の場所へご案内。
動物の足跡や冬芽を観察しながら、冬の県民の森を満喫します。



●スノーシュープライベートガイド

【開催日】随時(予約は1週間前まで)
【時 間】約60～90分
【参加費】7,500円(この料金で5名まで案内)
(スノーシューレンタル別途1,000円)

※イベントのある日などお受けできない場合があります。

プライベートだからご自分のペースで、ゆっくりと雪景色を楽しみながら歩くことができます。県民の森を良く知るガイドが冬の園内のとっておきの場所をご案内。「雪だるまをつくりたい」「松川溪谷に行きたい」など、リクエストも承ります。



●スノーシュー、ソリ・レンタル

【時 間】9:00～15:00
【料 金】スノーシュー 1,000円(ダブルストック付)
ソリ(大) 500円 / ソリ(小) 100円
スノーチューブ 600円(3時間)

道具がなくても、レンタルがあるので大丈夫。
スノーシューが初めての方は、履き方、歩き方からお教えしますのでお声掛けください。
この冬、スノーシューデビューしませんか？
ご予約がお勧めです。



森林ふれあい学習館 ギャラリー 展示

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

佐々木嘉久写真展【写楽】 2025年12月27日(土)～2026年2月27日(金)

写真を撮る楽しさ、撮影後の仕上げまでの楽しさ、作品の物語を観る楽しさ。撮影される側も撮られる楽しさ。すべてにおいて写真を楽しむで写楽【シャラク】と題しました。皆様もお楽しみ頂ければ幸いです。

【佐々木嘉久プロフィール】
1954年旧松尾村生まれ。大船渡工業高校電子科卒業後、地元企業で働く。2021年小岩井モデル撮影会に応募。画題【想樹】が入選。これがきっかけで全日本写真連盟岩手県本部に入部。写真の基本から指導を受ける。現在、二科会写真部岩手支部と全日本写真連盟岩手県本部に所属。
入賞作品：二科展の写真部門にて国立新美術館に展示。2023年 画題【ワープ】初入選。
2024年 画題【緊張】入選/2024年トーサイクラシックホールに展示。東北二科賞(グランプリ)受賞 画題【ループ】/ 2025年盛岡芸術祭部門賞 画題【時空スリッパ】
2025年 東北写真サロン岩手県優秀賞 画題【春 飲むの日】



画題【初秋】

【令和8年度 学習館ギャラリー出展者募集中】

ギャラリーでは、地域の皆様の作品を展示しています。利用料は無料。サークル活動の展示や、個人の作品展などにご利用ください。展示が初めての方も大歓迎。額の貸出等もありますので、お気軽に学習館までご相談ください。

岩手県森林公園

県民の森だより

2026.

1

Vol.240

発行 岩手県県民の森
(公益社団法人
岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】



夫婦桜のまわりを駆けるウサギの足痕 2025年1月19日

厳冬期、県民の森は1mほど雪が積もります。八幡平は雪質が良いことで有名。ふかふかのパウダースノーが味わえることが多いです。雪深いですが、スノーシューなどの雪上道具があると快適に歩くことができます。スノーシューは特に技術を習得しなくても、初めての人でも気軽に雪上さんぽを楽しめます。無雪期は笹藪で行く手を阻まれる場所も雪に覆われるので、スノーシューを履いていればどこでも好きな場所へ行かれます。雪上の動物たちの足痕や、雪上の自然の落とし物。積雪で普段よりも高い場所から眺める木々の姿、。冬ならではの楽しみが盛りだくさんです。どうぞ県民の森へ遊びにいらしてください。

岩手県県民の森 管理事務所

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレスト^{アイ}i

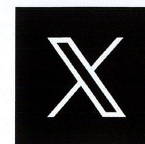
TEL.0195-78-2092 FAX.0195-71-1778

開館時間：9:00～16:00 火曜休館(祝日の場合翌日振替)

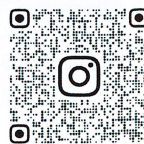
年末年始休館(12/29～1/3)



岩手県県民の森 検索



@forest_iwate



@MORI_IWATE

木の肌に親しむ

落葉して樹形が露わになった木々。雪景色のなかで木の肌がとても目立ちます。葉が茂っている頃は葉っぱや花に目が行きがちですが、冬は木の幹の存在感をじっくりと味わう季節です。樹種によって異なる肌を間近で味わってみませんか。きっと、木と特別に親しくなったような感覚になることでしょう。



アカマツ
マツ科マツ属



【アカマツ】 2025/1/31 【右：葉】 2020/5/6
園内でまず目立つのが幹が赤茶色のアカマツ。常緑の針葉樹で、冬も葉が残っています。岩手県の木、八幡平市の木として親しまれています。



カラマツ
マツ科カラマツ属



【カラマツ】 2023/2/23 【右：樹形】 2025/1/19
岩手山北麓には明治時代から多く植林されています。真っ直ぐに伸びた幹、円錐形の樹形は雪景色のなかで美しい姿を見せてくれます。



イタヤカエデ
ムクロジ科カエデ属



【イタヤカエデ】 2020/3/18 【右：樹皮】 2025/12/9
秋、黄色に色付く美しいカエデです。樹皮は暗灰色で滑らか。成長につれて波状の縦縞が生じ、大木になると縦横に不規則な割れが入ります。



ウリハダカエデ
ムクロジ科カエデ属



【ウリハダカエデ】 2025/1/22 【右：葉】 2024/6/25
若木の樹皮は芸術的で、暗緑色に黒い縦縞が入り、菱形の皮目が点在します。この樹皮が「マクワウリ（瓜）」の実に似ていることが名の由来です。



ミズナラ
ブナ科コナラ属



【ミズナラ】 2025/1/22 【左：ミズナラの実】 2024/10/6
山のどんぐりの木。樹皮は黒褐色から灰褐色で縦に裂け目が入ってはがれます。2025 年はブナと共に不作でしたが、2024 年は豊作でした。このあたりでは薪炭林として機能していたので、株立ち樹形の大木が多く見られます。



ハリギリ
ウコギ科ハリギリ属



【ハリギリ】 2024/12/31 【右：樹形】 2025/1/11
縦に深く裂けるコルク質の特徴ある樹皮。若い幹や枝には棘が多く、名の由来にもなっています。大木は風格があり、森のなかで一際目立ちます。「みんなの広場」の左奥に大木があります。



ブナ
ブナ科ブナ属



【ブナ】 2020/12/31 【左：ブナの実】 2024/9/24
東北の日本海側を代表する樹種。このあたりでは標高 800m あたりから増えてきます。樹皮は灰白色で滑らか、地衣類が付着して模様になっています。幹は通直ですが枝はよく分枝して壮大な樹形になり、その美しい姿は「森の女王」とも呼ばれています。園内にもまとまって植栽されています。



ホオノキ
モクレン科モクレン属



【ホオノキ】 2025/1/31 【右：ホオノキの実が目立つ】 2023/3/29
ホオノキは大きな葉っぱが特徴ですが、冬は落葉しています。樹皮は灰白色で滑らか、円形の皮目が散在します。ブナと間違える方も多いのですが、根元から枝分かれして株立ちになることも多く、枝に大きな実が冬も残っているので見分けられます。

県民の森の植物 92 ハイヌガヤ (イチイ科イヌガヤ属)

常緑小高木の針葉樹の「イヌガヤ」が北海道、本州の日本海側の多雪地帯に適応した変種。イヌガヤよりも小さくて、樹高は 1-2m ほど。厚く積もった雪に対応できるように匍匐型の樹形となり、幹の根元は地を這って、枝は斜上します。同じ林床で見られる常緑低木のヒメアオキ、ヒメモチ、エゾユズリハ、ユキツバキなども、このハイイヌガヤと同様、積雪適応の樹種です。冬は外気温よりも暖かい雪のなかで暮らしています。

ハイイヌガヤは雌雄別株。雄花は淡黄色で枝の裏側に粒々したもの。雌花は枝先に集まってつきます。雌花は受粉してもその年には熟さず、翌年の初夏から急に成長し、秋に紅茶色に熟します。昨年初めて食べてみましたが、針葉樹の香りが強いですが、甘い実です。葉は水平にきれいに並び、裏に灰白色の気孔帯があります。尖っていますが柔らかいので、触っても痛くないです。春、雪融けとともに出てくる春を告げる林床の常緑低木。いまは雪布団のなかで眠っていることでしょう。



林床にひっそりと生えています。2021/11/9



雄花蕾 2023/4/11



雄花 2023/5/15



雌花 2024/4/20



雌花が受粉した翌年の若い実 2024/4/20



成長中の実 2024/5/28



熟した実 2024/9/17